論文）山野美容芸術短期大学卒業式における ヘアスタイル定点観測の可能性

Possibility of Fixed Point Observation of Hairstyles at the graduation ceremony of Yamano College of Aesthetics

富田知子　山本恵子　及川麻衣子
平田昌義　石川文子　佐藤亮太　過足千明
阿部高広　内野美希　秋田留美

抄 録

山野美容芸術短期大学は、美道五大原則（髪・顔・装い・精神美・健康美）を建学の精神としており、２年間を通して美容を追求し、「美しく生きる」力を身に付けることを目指した教育を行っている。習得した二年間の学びと社会との接点に「卒業式」は存在していると言っても過言ではない。本学においても入学式は、指定はしていないが、一般的な礼装、いわゆるオーソドックスなスーツで参加する学生が多い。

欧米と比較すると、日本における「卒業式」は、明治以降、儀式的要素を持つステージとしての役割を持っている。「涙」や「感動」、「別れ」のイメージがある「卒業式」であるが、これは世界でも珍しい日本特有の学校文化であると言われている。1893（明治 26）年に、儀式唱歌が定められたが、共に歌うことで生じる一体感は、特に「卒業式」に最適な演出となっている。[1] その中で「装い」は、一体感と儀式性をより色濃く、その時を華やかに彩り、強く記憶に残す一助となっている。

今回は「卒業式」というカテゴリーの中で、ファッションの流行との共通点も比較しながら、ヘアスタイルに時代的な変化が見られるかを調査した。その結果、本学の卒業式のヘアスタイルは、卒業式という制約の中でも、時代に合わせた変化を見ることができた。卒業式におけるヘアスタイルの定点観測を継続することは、文化的理解と教育につながることが示唆された。

キーワード：ヘアスタイル　流行　定点観測　社会背景　卒業式　市場調査

I.　はじめに

美容に求められるものは常に時代変化とともに変わり続けている。技術のみならず、スタイルとしての表現についても重要なポイントとなる。現在、情報のあり方は多様になり、流行も「その人らしさ」と言ってよいほどに多様である。しかしながら時代の経過を俯瞰してみると、現在にも大きな傾向を見ることができるのではないか。ファッションの流行が繰り返し現れるように、ヘアスタイルにもその傾向が見られると考えられる。高橋（2012）は、近代日本の身装画像の年代判定を行う上で「髪型」による区分を試みている。[2] 美容教育を行う中で、どのような時代にも通ずる普遍的な技術理論及び錯視等の視覚的効果等、社会の変化とともに変わりゆく人々の感情に伴う表現方法を理解することが重要である。

TOMITA Tomoko, YAMAMOTO Keiko, OIKAWA Maiko,
HIRATA Masayoshi, ISHIKAWA Ayako, SATO Ryota,
YOGIASHI Chiaki, ABE Takahiro, UCHINO Miki
AKITA Rumi
山野美容芸術短期大学
連絡先:〒192-0396 東京都八王子市鑓水 530

II.　定点観測

ファッション業界における定点観測の原点は、関東大震災の復興期に人々を観察し、研究を行った今和次郎の「考現学」である。そこには、その時点での「イマ（時間）」と「ココ（空間）が存在する。[3] その「考現学」をルーツとする取り組みにパルコ出版 ACROSS 編集室が行う「定点観測」がある。この観測は、1980 年から現在に至るまで 40 年継続され、2023 年までに 500 回に及ぶデータの蓄積が行われてきた。

2001～2006 年に本学では、学生によるヘアスタイルの市場調査を行った。[4] 学生は、調査を行うことで、「個人が環境を内的な視野から見たものと、その環境に実際に存在するものとの差異を個人が解決する」すなわち、学生が自ら認知することを目指した。しかし、市場調査では多くの時間を要し、倫理的な配慮が難し

く、調査は中断している。市場では、ヘアスタイルに関する調査は、ヘアに対する悩み等のアンケート調査がほとんどであり、ヘアスタイルを構成する要素の調査は少ない。ヘアスタイルにおけるその時代を感じさせる要素はさまざまな場面においても見ることができる。そこで、「特定の地域・場所」（渋谷・原宿等）での市場調査というカテゴリーではなく、ある一定の場面における定点観測というカテゴリーでの調査が有効ではないかと考えた。

その観点から、学内での定点観測の可能性を検討するため、調査対象を時代の美容に敏感であろうと考えられる美容師を目指す学生とし、場面を毎年同じ時期に行われる卒業式とした。

日本の卒業式は明治時代 1872 年の学制の施行から始まり、その後明治 10 年頃より独立した儀式として定着している。有吉真紀は『卒業式の歴史学』において、その後日本特有の卒業式が構築され、「社会的期待にそって心をこめるべき事態」「社会が積み上げてきた感情」を刻印するための演出が多くなされてきた、と指摘する。また、一見不変に見える儀式も時代とともに変化するとしている。[5] 現在、卒業式の演出の一助を「装い」が担っているといっても過言ではない。また、「礼装を着用する場面」という制約は、年代の違いがより明瞭になるとも考えられる。田中敏江（2015）は現代の卒業式における袴の着装傾向や動向について調査を行い、そこで見られる袴姿は個性を表現するファッションとしてとらえられていることを明らかにしている。[6]

卒業式ステレオタイプのスタイルは、明治時代の女子教育の始まりに生まれた「袴スタイルに束髪」という髪型の女性が元となっている（写真 1）。束髪の種類についてはいくつか存在しているが、若い女性には、後ろを下げリボンをつけた「まがれいと」という髪型が好まれていたようである（図 1）。

昭和初期および戦時下には質素な服装が求められたため、袴と束髪のスタイルは見られなくなったが、昭和末期には女学生の卒業式のスタイルとして改めて現れる。広まったきっかけは、1975 年から 1977 年まで「週刊少女フレンド」（講談社）に連載された漫画『はいからさんが通る』（原作：大和和紀）の影響が考えられる。同作品はその後、1978 年にテレビアニメ化され、1987 年には東映による実写映画へと引き継がれている。1980 年代、女性の活躍が叫ばれ、伝統的価値観がファッションにも反映した時代、裕福な家庭の生い立ちを持ち、苦難を乗り越え自身の考えを持ち進むというキャラクターを見て育った世代が、成長

（写真 1）

引用：https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Asabuki_Isoko.jpg

図 1

図 2

して大学へ進み、その卒業式に「束髪に袴スタイル」（図 2）を取り入れることになったのは、先に示した明治時代の背景も含め、憧れの女学生のステレオタイプとして自然の流れであろう。

このステレオタイプが存在する卒業式において、社会背景の変化、流行の変化が存在するかどうかを調査することで、学内での定点観測の可能性を検討する。検討は教員が行うこととする。

III. 調査方法

本学は 1992 年に創立された。第一回卒業式は 1994 年に行われ、2022 年には 30 回を数えた。今回は卒業アルバムの写真を基に、当時の美容雑誌等で紹介されたヘアスタイルと比較し、本学学生が時代のテイストを取り入れているかを検証する。

まず時代背景とその時代に求められた髪型を含めたファッションイメージを振り返り、さらにヘアスタイルについて、本学に所蔵されている美容雑誌を用いて、当時の美容師からの提案を踏まえ、卒業式の髪型に反映しているかを観察する。

検討にあたり、創立前の 1980 年代を含め、次の 4 項目を中心に観察した。

①髪の長さ
②髪明度と質感
③スタイルのヘアシルエットや使用されたテクニック
④ヘアアクセサリー

表 1（p.7）は比較年度の項目をまとめたものである。

●1980 年代

まずは本学創立前、1985 年頃の卒業式スタイルを提示する。当時は、明治・大正時代の女学生に対するオマージュが感じられる卒業式の袴スタイルが大流行した。これが現在まで続く卒業式袴姿の基盤をなすクラシシズムなスタイルと言っても過言ではない（写真２）。

（写真２）

当時の社会背景として、1986 年には男女雇用機会均等法が施行され、女性の社会進出を後押しした。ファッションでは、バブル景気を背景にエリート層のインポートブランドへの嗜好が強まり、凛とした強さを感じさせる肩パットが特徴となるメンズ仕立てのジャケットや、フランスでは上流階級のシックな暮らしを示す「B.C.B.G」が流行する。深井氏は「'80 年代の“B.C.B.G”は、これはまさにボン・シック・ボン・ジャンルという文字どおりの、良い趣味を標榜するものだった」としている。[7] 伝統、上流、品格、のメッセージを含んでいるということであろう。

当時の髪型は、平安時代からの美意識、日本人としてのアイデンティティとなる痛みのない「丈なす黒髪」が主流となった。「ワンレン・ボディコン」という 1980 年代のアイコニックなスタイルと切り離すことができない髪型である。ワンレングスとは、髪に段を入れず、同一線状でカットするスタイルであり、動きを感じさせる段を入れた髪型とは対照的な、硬く構築的なイメージのある髪型である。毛先が美しく切りそろえられたその髪型こそ、先に記した平安貴族の女性の髪型で、高貴さを感じさせる。そうした点も、この時代の女性が求める女性の地位の向上や強さを示すことの一助となっていたと考えられる。

美容材料としても、ヘアマニキュアやシリコンのコート剤等 [8]、髪を痛ませず、硬質な艶を保ちながら長く伸ばすことを助けるものが重視されている。

和装という独自のカテゴリーの中にも、流行のファッションとともに時代が求める美意識が存在していることがわかる。

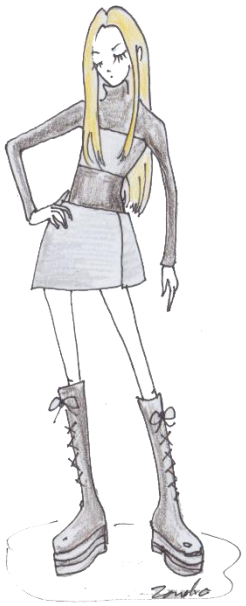
① ロング
② 暗め、重厚感
③ フロントを束髪にし、バックをダウン
④ 大きめリボン

●1990 年代

本学が創立された 1990 年代は、社会も大きく変容する。その変容を示す要因として、平石（2006）は「1990 年代の前後にかけて日本の内外では、大きな事件や変化がたてつづけに起こった。昭和の終焉、湾岸戦争、バブル経済とその破綻、政党再編、オウム真理教事件、阪神淡路大震災、グローバリゼーション、不況と金融危機、構造改革、アジアの経済的台頭、日米安保の定義、反テロ戦争等である。このように列挙しただけでも、時代が大きな転換期にあるという感を誰しも否めないであろう。」[9] としている。戦後の価値観が崩れはじめ、それまでとは違う価値観が生まれてきた時代とも言えよう。そのような中、ファッションではグランジファッション（grunge fashion）や古着等の「リサイクルカジュアル」[2] が注目される。グランジとは 1990 年代を代表する米国の音楽のムーブメントであり、それを主導したバンド「ニルヴァーナ」のメンバーが着用していたダメージデニム等のグランジ（汚れた）が着目され流行したものである。これ

までのファッションが持つ社会の記号的な価値観、保守的な上質さや伝統を崩すとともに、新しい価値観の誕生でもあったと言えよう。[10]

このことは日本の美容にも影響を与える。古びたくすんだイメージに合わせるように、髪の毛は艶を失い、それまでの日本人の価値観にあった黒髪の美意識にも変化が起こり「茶髪」が流行する[11]（写真 5）。1990 年代半ばには、歌手安室奈美恵が注目され、そのファッションを模倣した「アムラー」（図 3）や「ガングロ」と呼ばれる高校生が登場する。「茶髪」とは、文字どおり黒髪を脱色し茶色にすることである。美容業界で使用される髪の明るさを表す指標をレベルで表したスケール（写真 3）で比較すると、基本的な日本人の黒髪の平均は 4～5 レベルと言われ、この時期の茶髪は 11 レベル以上となった。このことは、日本のヘアカラーのバリエーションと技術が確実に拡大していく要因となった。1996 年には、JHCA 日本ヘアカラー協会が設立されている。[12]



（図 3）

（写真 3）

髪型については、安室奈美恵に象徴されるストレートのロングであり、毛先に削ぎを入れ 1980 年代のワンレングスとは違い、軽さや動きを感じさせるスタイルとなる。

美容技術としては、1999 年から放送されたテレビ番組『シザーズリーグ』[13] でクローズアップされたカリスマ美容師が行った「スライドカット」が流行し、毛先にはシャギーが特徴として見られる。この技術は、1980 年代に見られた毛髪に直角にハサミを入れ、毛先を一線に揃えた重い印象になるブラントカットとは異なり、ハサミを斜めに滑らすように入れる技術である。毛先が斜めにそぎ落とされて鋭利になるため、針のようにとがった印象と軽い印象が生まれる（写真 6）。

黒髪を高明度にするためのヘアカラーは、毛髪に当然ダメージを与える。科学的に見れば、毛髪表面を保護するキューティクルが開いたり、また剥がれ落ちたりすることで毛髪内の物質（アミノ酸）が流出し、損傷毛となる。この状態の毛髪は艶がなく、実際に軽いが、しなやかさを失う。この印象は、ファッションの流行のグランジなイメージに調和する。これに合わせ、整髪料も無造作な表現を可能とするワックスが主流となった。[14] また、カラーブームに対応したカラーワックスも登場している。[8]

纏め髪においても毛先を軽く散らし、軽さをと直線性を表現したものが現れる（写真 8、9、10）。

1990 年代の特徴として、これまでの保守的な「美」の価値観を否定するという傾向がある。それがヘアアクセサリーにも見られる。たとえば（写真 10）に見られるように、本来はスタイルを作るための道具であるアメリカピンや下地を作るためのダブルピンをアクセサリーとして使用する傾向も見られる。

この時代の卒業式スタイルを見る。スタンダードな束髪が見られるものの、新しい方向性も見られる。（写真 11）は束髪ではあるが、1990 年代らしく茶髪である。

また、毛先を針のように散らしたヘアスタイルも見られる。スタイルはベリーショート、ワッフルされたボブ等、いわゆるステレオタイプ以外も見られる。

① ショートボブが多い
② 明るめ、ドライ感、軽さ
③ タイト＋毛先軽さと広がり（毛先の不揃い感）
④ アメリカピン、花、組み紐、リボン

●2000 年代

バブル崩壊を経験した 1990 年代は、2000 年に入り「失われた 10 年」と言われたが、経済界では現在も高度成長期や安定期のような経済成長が見られず、「失われた 30 年」とも言われている。[15] 2001 年米国同時多発テロ事件、2008 年のリーマン・ショックなど、現在も多くの紛争が多発している。2020 年には新型コロナウイルス（COVID-19 ）が流行し、人と人の関わりに変化が起こり、新しい生活スタイルが生まれる。不安定要素が起こる中、新しい生活様式でコミュニケーションを図るために、ICT（Information and Communication Technology）が発達し、現在に至っ

ている。ファッションの傾向は、SNS（Social Networking Service）を主軸として広まり、一方向性のない細分化されたファッションの流行が起こっている。そのような中でも特徴的な流れがある、①コロナ禍を超え、清潔感のあるイメージ、②SDGs の考え方がファッションにも反映され、リユース、リサイクル、その流れからリバイバルのテイストもあり、それらが新しさを作り出しているとも言える。

2000 年から 2010 年代、そして 2020 年代を俯瞰してみる。2000 年代、学生の年代と式典での髪型の傾向であるモテ系とギャル系の華やかなファッションの関係性を見たい。

髪型を見ると、2000 年代カラーリングが一層、広がりを見せる。カラーリングの発展が、ヘアスタイルのイメージの表現に欠かせないものとなったと言っても過言ではない。村澤（2001）の調査では、染毛率は全体で 3 人に 2 人、「24 歳-29 歳」では、4 人に 3 人という増加を見せた。[17] さらに、茶髪を容認する人は 88%となり、1990 年代に高校生から始まった「茶髪」は一般的なものになったと言える。

新しい動きがあった 2000 年～2010 年代は、ファッションの多様化に合わせ、髪型も細分化されている。モテ系の巻き髪（写真 15）、ギャル系の盛髪が特徴的である（写真 16）。盛髪はそのまま、式典に合わせられる華やかさを持っている。巻き髪を好むモテ系については、柔らかい質感を表現できる編み込みが取り入れられ（写真 4）、使用するスタイリング剤もワックスからそれに合う軽い質感へと変化している。[18] サイドアップなどがある。編み込みも、編んだ束を少しずつ引きだすようにし、崩れかけるような柔らかさと軽さの表現が見られた（写真 4-1,2）。

（写真 4-1）

（写真 4-2）

2020 年前後より、Z 世代には「1990 年代のやぼったさと 1980 年代のブランドファッションがミックスしたリュクス感」[3] が流行した。もちろん当時のままではなく、2020 年のコロナ禍を超え、常に消毒をし続けた日常の清潔感とデジタル的な要素も含んだクールさが感じられる。

纏め髪についてはファッション同様に 1980 年代 - 1990 年代の影響が見てとれる。甘いカールのスタイルも健在だが、スタイルのトップボリュームが小さくなり、またネープなど低い位置で纏めるポニーテール型が多く見られた（写真 29）。このバランスは当時の成人式で見られたものである。2022 年に韓国のアイドルのヘアスタイルとして注目された「カチモリヘア(까치머리)」[19] も 1990 年後半から見られた「スリックバン」髪型である [20]（図 4）。

（図 4）

卒業式においても、このころのバランスの髪型が多用されている。使用されているアクセサリーは、水引や金箔等、日本の伝統を感じさせる。黒髪が多く見られ、艶やかにまとめられている。これは 1980 年代後半から 1990 年代にも通ずる、伝統の中にある価値観や美意識を再構築したものともとれる（写真 32 枠内）。

2000 年代
①ロング
②明るめ、軽さ、艶
③毛先の軽さと上ボリューム
④羽、大きめの花

2010 年代
①ロング
②明るめ、艶
③重ため、下ボリューム、柔らかさ
④花、カチューシャ

2020 年代
①ロングからセミロング
②暗め、艶
③タイト、毛先軽い、低い位置のバランス
④水引、組み紐、箔、つまみ細工、リボン

Ⅳ. 考察とまとめ

今回の調査は、当年代ヘアファッションの流行と比較し、1980 年代では重厚感のあるロング、1990 年代では軽さを求めたショートや毛先を散らしたスタイル､2000 年代にはいり徐々にカールを用いたロング、2010 年代には重さのあるロング､2020 年代には 1980 年代の重厚なテイストや 1990 年代の軽さをリバイバルさせて現代的な自由さをもって表現されている。

卒業式というフォーマルかつ人々が同じ目的で集う場面においても、時代性による変化が見受けられることがわかるとともに、当時の写真でヘアスタイルを比較することで可視化できたと考える。

時代の持つイメージの変化は、たとえば 2020 年からのコロナ禍等の大きな出来事によって変化を見せることがあるが、通常はさまざまな要因によって少しずつ変化をするものである。現在、学生は SNS からの情報を参考にする傾向が強く、実際に本年度の卒業式に見られた新しいアレンジスタイルが、本年度末の雑誌に紹介されているという流れも見られた。美容の教育現場において現状を捉えることの重要性を考えると、今後も毎年、卒業式のヘアスタイルについて調査し、流行との関係性について検討していく必要があると考える。

利益相反の有無

なし

謝辞

本調査にあたり、卒業生をはじめ写真をご提供くださった皆様、各出版社、山野美容芸術短期大学図書館及び広報室の皆様に心より感謝申し上げます。

参考文献および写真等出典

1) 立教大学 「日本独自の卒業式が生まれた背景と「歌」の役割」文学部教育学科 有本真紀 教授 https://www.rikkyo.ac.jp/closeup/research-n-faculty/2023/mknpps0000024qa6.html (2023.11.2)
2) 高橋晴子 「近代日本の身装画像デジタルアーカイブにおける「髪型」に基づく年代判定 」アート・ドキュメンテーション研究 2012 年 19 巻 pp.3-15
3) ACROSS 編集室編著『ストリートファッション 1980-2020 定点観測 40 年の記録』PARCO 出版 2020 年発行
4) 「山野研究紀要」に投稿した市場調査 2001 年～2006 年
(ア)山野愛子ジェーン他：「学生による 2001 ヘアスタイルの市場調査 美容教育的効果と問題点」vol.10 2002 pp.1-14
(イ)戴美瑩他：「学生による 2002 年ヘアスタイルの市場調査」vol.11 2003 pp. 35-42
(ウ) 牧野早絵他：「学生による 2003 年ヘアスタイル市場調査」vol.12 2004 pp. 63-72
(エ) 山本恵子他：「学生による 2004 年ヘアスタイル市場調査」 vol.13 2005 pp.77-86
(オ) 下家由樹子他：「2005 年東京ヘアスタイル市場調査」vol.14 2006 年 pp.23-30
(カ) 下家由起子他著「2006 年東京ヘアスタイル市場調査」vol.15 2007 年 pp.75-82
5) 田中淑江他 「卒業式に見る袴の現代的着装の研究Ⅰ」共立女子大学家政学部紀要 第 61 号 2015 pp.11-46
6) 有本真紀著『卒業式の歴史学』 講談社 2013 年 3 月
7) 深井晃子著 『20 世紀モードの軌跡』 文化出版局 1994 年 p.22
8) 植村雅明他 「ヘアスタイリング剤の技術動向とヘアワックスの開発」FRAGRANCE JOURNAL 1985-5 pp.36-40
9) 平石直昭 「1990 年日本の思想変容」東京大学社会科学研究 第 58 巻第 1 号 pp.1-7
10) 吉村誠一編『'97 年版ファッション新語辞典』チャネラー p9,39
11) 村澤・高谷 「現代女性の髪色観-若者は茶髪が当たり前の時代に 黒髪へのこだわりの消失」『おしゃれ白書'97』ポーラ文化研究所 1997.11.25 pp.1-5
12) JHCA とは｜【JHCA】NPO 法人 日本ヘアカラー協会 https://www.jhca.ne.jp/about/ (2023.10.25)
13) 「美容師人生、最後の挑戦として臨む」（RITZ・金井豊さん） | ビュートピア（Beautopia） https://www.beautopia.jp/126773/ (2023.11.4)
14) メンズヘアスタイルの変遷 - 昭和＆平成に生まれた資生堂の名品と共に振り返り https://www.fashion-press.net/news/48605 (2023/10/31)
15) 「失われた 30 年とは？日本経済が停滞し続ける理由と課題」 日経ビジネス 2023.1.25 https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00081/121400478/ (2023/10/31)
16) 日本理容美容教育センター『文化論』
17) 村澤博人他 「アンケートにみる過去 10 年間の現代女性の髪色観の変化」ポーラ おしゃれ白書 2001.11.15
18) 浅田拓二他「ヘアスタイリング剤-べたつきがなく自然なヘアスタイルの実現へ - 」FRAGRANCE JOURNAL 2012-12 pp.38-42
19) あえて毛先を残すまとめ髪“カチモリ”とは？ 韓国アイドル＆海外セレブのお手本スタイルを総覧（ellegirl.jp） https://www.ellegirl.jp/beauty/hair/g40608243/kachimori-sleek-bun-22-0719/ (2023.11.2)
20) 「カチモリ」が新たなトレンド！韓国セレブのお団子ヘア集（cosmopolitan.com） 2022.6.22 https://www.cosmopolitan.com/jp/k-culture/korean-fashion/g40372423/slicked-bun-kcelebrity/ (2023.11.2)
21) マサ大竹「ヘアスタイリングの過去・現在・未来」粧技術誌 第 37 巻 第 1 号 2003 pp.3-9

写真及び図引用

図1) 村野徳三郎 編『洋式婦人束髪法』,村野徳三郎,明治 18 年 10 月 国立国会図書館デジタルコレクション p 11 https://dl.ndl.go.jp/pid/902392 (2023-11-2)
図2) ハイカラさん風イラスト　著者作
図3) アムラー風イラスト　著者作
図4) カチモリヘア風イラスト　著者作

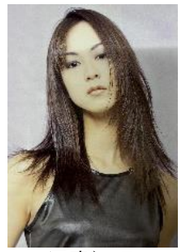
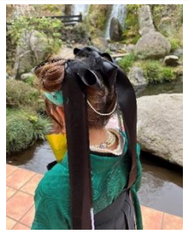
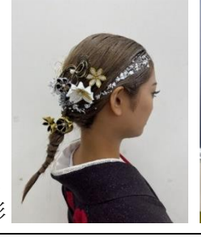
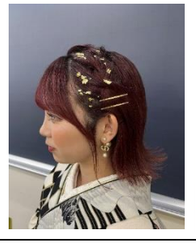
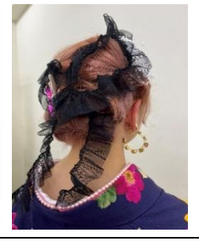
写真1)　朝吹幾子氏写真 https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/c/c3/Asabuki_Isoko.jpg (2023.10.25)
写真2)　個人提供　1984 年撮影
写真3)　日本ヘアカラー協会 https://jhca1.jimdo.com/ (2023.12.5)
写真4)　1, 2 「パーティーヘア＆テクニック 2008」「Shinbiyo」(新美容出版) 2007 年 12 月号付録 pp.13-25
写真5)　「ヘアモード」(女性モード社) 1999 年 4 月号　p47
写真6)　「ヘアモード」(女性モード社) 1997 年 10 月号　p57
写真7)　「ヘアモード技術」(女性モード社)1999 年 2 月号　p15
写真8)　「ヘアモード」(女性モード社) 1998 年 5 月号　p98
写真9)　「百日草」(百日草) 1998 年 1 月号　p60
写真10)　『'99 きものの日の髪型とメイク』家庭画報特選 世界文化社　p21
写真11)　卒業生提供　1997 年 3 月撮影
写真12)　1996 年卒業アルバム
写真13)　1997 年卒業アルバム
写真14)　卒業生提供　1997 年 3 月撮影
写真15)　「TOMOTOMO」(新美容出版) 2014 年 2 月号　p26
写真16)　小屋千春著『盛りヘアまるわかり』 髪書房 2009 年 9 月 基本スタイル 4　p28
写真17)　「百日草」(百日草) 2004 年 1 月号　p59
写真18)　「百日草」(百日草) 2006 年 7 月号　p60
写真19)　卒業生提供 2006 年 3 月撮影
写真20)　2006 年卒業アルバム
写真21)　「百日草」(百日草) 2012 年 7 月号　p52
写真22)　「Snip Style」(コワパリジャポン) 2011 年 12 月号　p36
写真23)　「TOMOTOMO」(新美容出版) 2015 年 1 月号　p28
写真24)　「TOMOTOMO」(新美容出版) 2014 年 2 月号　p26
写真25)　写真 26)　2018 年 3 月 山野美容芸術短期大学 Twitter（現 X）投稿写真 https://twitter.com/yamano_tandai/status/974441144342822912 (2023.12.5)
写真27)　「SHINBIYO」(新美容出版) 2023 年 11 月号　表紙
写真28)　「SHINBIYO」(新美容出版) 2023 年 3 月号　表紙
写真29)　「はなよめ」(百日草) 2023 年 2 月号　p13
写真30)　「ヘアモード」(女性モード社) 2024 年 1 月号　p52
写真31)　「SHINBIYO」(新美容出版) 2023 年 11 月号　p19
写真32)　枠内) 2023 年 3 月 卒業式撮影

(英文タイトル)
Possibility of fixed-point observation of hairstyles at the graduation ceremony of Yamano College of Beauty Arts

提出　2023 年 12 月 18 日

表 1

年代	1980	1990	2000	2010	2020
髪の長さ	ロング	ショートボブ	ロング	ロング	ロングからセミロング
髪の明度 質感	暗め 重厚感	明るめ ドライ感、軽さ	明るめ 軽さ、艶	明るめ 艶	暗め 艶
テクニック	フロント束髪にし、バックをダウン	タイトさ、毛先の軽さと広がり(毛先の不揃い感)	毛先の軽さ、上にボリューム	重ため、柔らかさ、下ボリューム	タイト、毛先軽い低い位置のバランス
ヘアアクセサリー	大き目リボン	アメリカピン、花、組み紐、リボン	羽、大き目の花	花、カチューシャ	水引、組紐、箔、つまみ細工、リボン
社会的流行等	ハイカラさん	茶髪　アムラー	盛髪	モテ髪	1980～90 年代のリバイバル

	美容雑誌での提案スタイル①	美容雑誌での提案スタイル②	卒業式	その特徴
90年代	写真）5 写真）6  写真）7	写真）8 写真）9 写真）10	写真）11 写真）12 写真）13 写真）14	**1. 長さ** ショートボブが多い **2. 明度・質感** 明るめ、ドライ感、軽さ **3. シルエット等** タイトさ、毛先の軽さと広がり（毛先の不揃い感） **4. アクセサリー** アメリカピン、花、組み紐、リボン
00年代	写真）15 写真）16	写真）17 写真）18	写真）19 写真）20	**1. 長さ** ロング **2. 明度・質感** 明るめ、軽さと艶 **3. シルエット等** 毛先の軽さ、上にボリューム **4. アクセサリー** 羽、大き目の花
10年代	写真）21 写真）22	写真）23 写真）24	写真）25 写真）26	**1. 長さ** ロング **2. 色・明度** 明るめ、艶 **3. シルエット等** 重ため、柔らかさ、下ボリューム **4. アクセサリー** 花、カチューシャ
20年代	写真）27 写真）28	写真）29 写真）30 写真）31	写真）32     2023年3月撮影	**1. 長さ** ロングからセミロング **2. 明度・質感** 暗め、艶 **3. シルエット等** タイト、毛先軽い 低い位置のバランス **4. アクセサリー** 水引、組み紐、箔、つまみ細工、リボン